



国土交通省の行政官から地元に戻り三重県知事に就いた一見勝之さん（58）。コロナ禍への対応に即戦力ぶりを発揮し、早くも5年後の県政150年を見据える。諸葛孔明の金言「鞠躬尽力」とともに「県民の皆さんに」という言葉を何度も口にする謙虚で且つ誠実感あふれる知事の誕生だ。（インタビューは編集長の塚本隆、構成・文責は編集部）

**塚本** ご就任おめでとうございます。いきなりでコロナ禍の対策が問われますね。

**一見勝之知事** 本県では一時は過去最多の515人となるなど感染が拡大していましたが、県民や事業者の皆さんのご協力により、9月下旬からは新規感染者が減少に転じ、10月14日で飲食店への営業時間短縮要請などは終了、10月18日には210日ぶりに新規感染者数がゼロとなりました。ただ、第6波は必ずやってきますので、これに備える必要があります。そこで、感染拡大防止アラート等の設定、検査体制の整備、ワクチン接種体制の整備、医療提供体制の整備—の4つを柱とする「みえコロナガード(M.C.G)」をまとめました。（右ページ表）

### 「陸で子どもたちの命が失われていいのか」

—国交省の行政官として印象に残ったご経験について。

**一見** 行政官として35年間奉職しました。三重にも関係があった取り組みを挙げるとすれば、自動車局長時代の「危険なバス停の安全対策」があります。今から約3年前、平成30年の8月頃に横浜市で、小学5年生の女子児童が路線バスから降り、後方の横断歩道を渡ろうとした際に、反対側からの車にはねられ、お亡くなりになったという痛ましい事故がありました。約1年後、自動車局長だった私に、マスコミの方から「1年の節目にキャンペーンをした

## ＜三重県の今後のコロナ対策「みえコロナガード(M.C.G)」＞

①感染拡大防止アラート等の設定

- 感染拡大防止アラート＝2日連続で17人以上の新規感染者が確認された場合（感染防止対策の再度徹底や行動の確認など）
- 感染拡大阻止宣言＝直近1週間の新規感染者数が10万人あたり8人以上、あるいは病床占有率30%以上となった場合（県境を越える移動を避けるなど）
- 緊急警戒宣言＝直近1週間の新規感染者数が10万人あたり15人以上、病床占有率30%以上、重症病床占有率20%以上のいずれか2つ以上となった場合（営業時間短縮要請等）

さらに、感染状況が悪化した場合は、「まん延防止等重点措置」や「緊急事態宣言」に移行。

②検査体制の整備

- 民間検査機関の活用等による保健所の検査体制の強化。
- 無料PCR検査の推進（県内に居住または就業・就学されている方を対象＝検査数は12万件（1日あたり2,000件））。

③ワクチン接種体制の整備

発症予防、重症化予防の観点からも、若年層へのワクチン接種をより一層推進することが重要。このため、さらに若年層の接種を推進するため、県営集団接種の四日市市会場においては、接種日を追加して、12歳から29歳までの方を対象に接種を行う。

④医療提供体制の整備

- 病院＝重症患者、中等症患者、妊婦さんなどの重症化リスクの高い人を対象に、最大で523床を確保。
- 酸素ステーションの機能を持った臨時応急処置施設＝感染拡大時における中等症II患者を対象（10月に恒常的な施設として、津市に1施設10床を確保）
- 宿泊療養施設＝感染拡大時における中等症I、軽症・無症状で健康フォローアップが困難な方（3施設375室確保。さらに2施設程度を確保予定）
- 自宅療養

い」と相談があり、そういう危険なバス停を放置しておいていいんですか、という疑問の声も頂きました。その方は、危険なバス停の問題は、自治体との関わりが深いと考え、総務省や警察庁にも相談に行かれたそうですが、結局どこにも相談先がなく、バス行政を所管している自動車局に来られました。私は前職が海上保安庁で、海上保安官は海で自分の命を賭して人命救助にあたっているのに、陸で子どもたちの命が失われていいのかという思いを持ち、「わかりました。やりましょう。」と、全国の運輸局に指示をして、令和元年12月から全国のバス停調査を始めました。バス停は全国に約40万カ所。地方運輸局が中心となって、自治体と警察の方に調べて頂き、令和3年の3月頃に調査が完了。その結果、全国の約1万カ所のバス停が危険だとわかり、それらを3ランクに分類し、1番危

険な約1,600カ所から優先的に移設を進めていくことになりました。令和3年8月末時点で約1,000件程度、全体の約10%で対応が完了しています。

—素晴らしい取り組みですね。

**一見** 三重県には、令和3年6月時点で125カ所の危険なバス停があり、うち57カ所で既に対応をして頂くことができました。全国平均の対応率が約10%のところ、三重県においてはすでに約45%が対応済みで、県内自治体、三重運輸支局、警察、北勢国道事務所、バス協会、バス事業者等のご尽力に改めて感謝申し上げます。

### 「正義仁愛」を胸に

—国の経験を今後の県政に生かすとしたら？